令和 3 年度 健康推進課 主たる事業（実績）

① 母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、子どもの健やかな成長や保護者の育児を支援するため、引き続き母子保健事業を実施しました。

1 妊婦健康診査

妊娠の届出の窓口を子育て世代包括支援センターで対応し、保健師・看護師が面接して全員に支援プランを作成し、必要に応じて妊娠期から訪問や電話相談等の支援を行いました。

また、14 回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても償還払いによる助成を行いました。

●母子保健のしおり交付：母子手帳交付時の交付 158 人(双子 1 件)
転入妊婦等 2 人

●1～14 回妊婦検診受診者数：延べ 2,047 人

●県外助成：9 人

2 家庭訪問

生後 1～2 か月の乳児がいる家庭へ、保健師、助産師、訪問員が全戸訪問を実施しました。育児相談や育児環境等を確認して保健指導を行い、産後うつ程度の程度を確認するための「エジンバラ産後うつ質問票(EPDS)」等によりこころの状態を確認し、育児不安に対応しました。緊急事態宣言発令中は、資料配布と電話相談に切り替えて対応し、産婦・家族の希望や電話相談の様子から判断して、個別相談や訪問で対応を継続しました。

EPDS が高値の人や育児不安が強い人など、経過観察が必要な場合は保健師が継続訪問等で対応し、医療機関等と連携して産後ケアや受診等の支援を行いました。

●赤ちゃん訪問：159 人（保健師訪問 143 人・訪問員訪問 11 人、
ポストイン 2 人、来所対応 3 人）

●随時訪問（フォロー児）：42 人

3 思春期保健事業

「赤ちゃんふれあい教室」のコロナ禍での再開は難しく、昨年度に引き続き、性感染症とメディアリテラシーを考える出前講座に加え、将来の健康づくりに向けたヒントを学ぶ「思春期健康づくり講座」のプレ実施を行いました。

●思春期出前講座

性感染症予防講座：12 回 311 人参加（中学 3 年生、市内全 6 校）

思春期健康づくり講座(プレ実施)：2 回 58 人参加

(中学 2 年生、市内 1 校 2 クラス)

令和 4 年度 健康推進課 主たる事業（計画）

① 母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、子どもの健やかな成長や保護者の育児を支援するため、引き続き母子保健事業を実施します。

1 妊婦健康診査

妊娠の届出の窓口を子育て世代包括支援センターで対応し、保健師・助産師・看護師が面接することにより、妊娠届出時から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、出産後適切な育児ができるよう、途切れのない支援を行います。

14 回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても償還払いによる県外助成を行います。また多胎妊婦については、必要に応じて受診券の追加交付を行います。

2 家庭訪問

生後 1～2 か月の乳児がいる家庭へ、保健師、助産師、訪問員が全戸訪問を行います。また乳幼児健診等で要フォローとなった乳幼児のいる家庭や、産後うつが心配される産婦に対して保健師が随時訪問を行い、発育発達の状況を確認や、産後のメンタルケアに積極的に取り組みます。妊娠届出時の状況や、妊婦健康診査の結果等により、必要に応じて家庭訪問や産後ケア事業等を紹介し、安心して出産・育児ができるよう支援していきます。

3 思春期保健事業

昨年度にプレ実施を行った、将来の健康づくりに向けたヒントを学ぶ「思春期健康づくり講座」を正式な出前講座プログラムとして新設します。また、昨年度に引き続き「性感染症予防講座」を継続し、講座の中にグループワークを導入して、当事者の関心や疑問にアプローチできる内容を目指します。